

小学校高学年用 学習の手引き

進んで学ぶ時津っ子

時津小学校 時津北小学校
時津東小学校 鳴鼓小学校
時津中学校 鳴北中学校
時津町教育委員会



保護者の皆様へ

～子どもたちに「確かな学力」を～

子どもたちが生きていくこれからの時代は、変化が早く、予測するのさえ難しいと言われていています。今までの正解がこれからも正解か、だれにも分かりません。

そうになると、子どもたちには、正解を見つけたり覚えたりする力だけでなく、自分の考えをもち、人と協議・検討し、よりよい答えを創り出す力が求められます。この力は、学校でも家庭でも育まないと、なかなか身に付くものではありません。

そこで、「時津っ子の教育」に携わる、時津町立小・中学校6校、並びに時津町教育委員会は、次のような願いを持ち、令和5年3月に、第4訂版となる「学習の手引き」を作成しました。

- 時津っ子に、自分の考えをもち、人と議論することのできる知識や技能を身に付けさせたい。
- 時津っ子に、望ましい生活や学習習慣を身に付けさせたい。
- 時津っ子に、進んで学習に取り組む意欲や態度を育てたい。
- 学校での学習と家庭での学習を、効果的に結びつけたい。
- 時津っ子が、中学校進学時に抱くかもしれない生活や学習上の不安を、少しでも取り除きたい。
- 家庭と小・中学校がつながり合って、時津っ子の健やかな成長の実現を図りたい。

この冊子の中には、保護者の皆様へ向けたご説明やお願いなどもかかげております。ぜひお子さんといっしょにご覧いただき、内容や方向性についてご理解いただきますとともに、励ましのお声掛けやアドバイスをしていただきますようお願いいたします。

この冊子が、各ご家庭と町内小・中学校を結ぶ架け橋となり、今後ますます連携を深めながら「時津っ子の教育」に取り組んでいけますようお願いしております。

もくじ

…子ども用

…保護者用

I 「早寝・早起き・朝ごはん」～今日も元気な時津っ子～

1 生活リズムについて	P1	1 生活リズムを整えさせていますか？	P3
2 朝の準備について		2 適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？	
3 家庭学習の準備について	P2	3 お子さんが学習する環境は整えられていますか？	P4
4 テレビや動画、ゲームの約束について		4 テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？	

II 「家庭学習の仕方・計画の立て方」

1 家庭学習の意義	P5
2 家庭学習の基本	P6
3 家庭学習の進め方	P9
4 身に付けてほしい学習内容	P11

III 「学習の約束」

1 授業前	P12
2 授業中	
(1) 学習道具の使い方	
(2) 学習に向かう姿勢・態度	P13
(3) 学習中の話し方	
(4) 学習中の聞き方	P14
(5) 学習中の書き方	
3 授業後	
4 ノートの取り方	

～児童用～

I 「早ね・早起き・朝ごはん」

～今日も 元気な 時津っ子～

1 生活リズムについて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
すいみん不足になると、体の成長のさまたげになるばかりでなく、集中力をうばい、ふつうは乗り越えられる課題でも、乗り越えられなくなります。 十分すいみん時間をとりましょう。			
① 毎日、自分が決めた寝る時こくや起きる時こくのとおりに生活した。	5年		
	6年		
○起きる 時こく 午前 <input type="text"/> 時 ○寝る 時こく 午後 <input type="text"/> 時			
※ すいみん時間を、8～9時間は確保できるようにしましょう。			
			

2 朝の準備について

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
朝食をとらずに登校すると、栄養が不足し、脳のはたらきが悪くなります。 早めに起床して、朝食をしっかりとりましょう。			
① 主食（ごはんやパン）と、 おかずのバランスを考えて食べた。	5年		
	6年		
② 朝ごはんを食べはじめる時こくを決めて、 早めに起床した。午前 <input type="text"/> 時	5年		
	6年		
③ 家で排便がすませられるように、朝の生活 リズムを整えた。	5年		
	6年		

3 家庭学習の準備について

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4月	月	月
① 学習しやすいかんきょうをつくった。	5年			
	6年			
② 何をどのくらい学習するのか、 めあてや見通しを立てて学習した。	5年			
	6年			

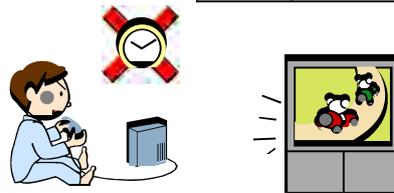


4 テレビや動画、ゲームの約束について

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4月	月	月
① テレビや動画を見たり、ゲームをしたり する時間を決め、それを守った。	5年			
	6年			

○5年生 時間

○6年生 時間



※ 生活リズムや学力、視力などへのえいきょうを考えると、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしてもよい時間の目安は、全部合わせて1日2時間です。

I 「早寝・早起き・朝ごはん」

～今日も 元気な 時津っ子～

1 生活リズムを整えさせていますか？

適切な睡眠時間は明日の活力の源です。睡眠不足は、学習への集中力を減退させ、学力向上の妨げとなるばかりでなく、体内時計をくるわせ、通常なら乗り越えられる課題もできなくさせると言われています。常に規則正しい生活リズムを維持させ、頭と体がスッキリした状態をつくらせてください。

高学年の時期は、第二次性徴期にあたります。この時期に成長ホルモンが多く分泌されるためには、適切な睡眠が必要です。

以下は、小学生の睡眠に関する目安です。お子さんはいかがですか？

小学生の睡眠時間	小学生の就寝時刻	小学生の起床時刻
8時間～10時間	午後8時～10時	午前6時～7時



2 適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？

文部科学省の調査によると、「朝ごはんを食べないことがある小・中学生の割合」(令和4年度全国学力・学習状況調査)は、時津町の小学生 12.1% (全国 15.1%) という結果が出ています。

また、同じ調査で「朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係」の結果を見ると、毎日朝食を食べる子どもの方が、平均正答率が高い傾向にあります。これは、学力の向上には、朝食の「栄養」とそれを準備して下さる「保護者」、そして決まった時刻に起きる「子ども」の三者が、互いにかかわりあっていると考えられます。

また、成長期にある子どものよりよい脳の発達のためには、食事の栄養バランスも欠かせません。家庭の責任として、学びの土台をつくるにふさわしい朝食をとらせ、家庭で落ち着いて排泄させたうえで、すっきり元気に登校できるようにしましょう。



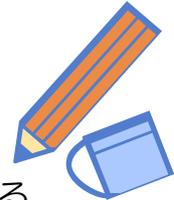
- 主食(ごはんやパン) と、おかずのバランスを考え、十分な量を食べさせる。
- 朝食をとる時間を決めて、早めに起床させ、それを習慣化させる。

3 お子さんが学習する環境は整えられていますか？

子どもが集中して学習に取り組んでいくためには、意識が他のことに向かないような環境を整えることが大切です。高学年の時期になると、自分である程度の学習環境を整えることができるようになりますが、メディア等の誘惑も大きく、まだ不十分です。特に、高学年の子どもたちは「自分の学習の仕方を身につける」時期でもあります。

子どもまかせにするのではなく、見届けと励ましをお願いします。

- ① テレビや動画、音楽等を消し、「ながら勉強」にならないようにする。
- ② 机の上が整理されているか確認し、必要のない物は片付けさせる。
- ③ 遊び道具・ゲーム・マンガ本・携帯電話等は、手の届かない所へ整理させる。
- ④ 何をどのくらい学習するのか、めあてや見通しを立てさせる。そのためにも、日頃から学校では今どんな学習をしているのか、親子の会話や学校からの通信等で、ある程度把握しておく。



4 テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？

テレビを見る時間に加え、インターネットを介したゲームや動画アプリを長時間利用している子どもは、就寝時刻が遅かったり、家族との会話が少なかったりする傾向にあります。

また、インターネットの利用を子どもに任せていると、インターネット上のいじめやそれをきっかけとした事件に巻き込まれるケースも増えることが報告されています。

国は、子どもに携帯電話等を持たせるかどうかの判断と管理は、保護者が行うよう定めています。インターネットを利用できる機器を保護者の責任として持たせる場合は、いじめや事件に巻き込まれないよう、右下のQRコードから読み取った資料を参考にしながら、子どもと一緒にルールを決めましょう。



また、読書は、考える力や思いやりの心、豊かな感性を育みます。

インターネットの適切な活用を促しつつ、読書（家読）に親しむ時間も割くことができるよう、家庭での過ごし方を工夫しましょう。

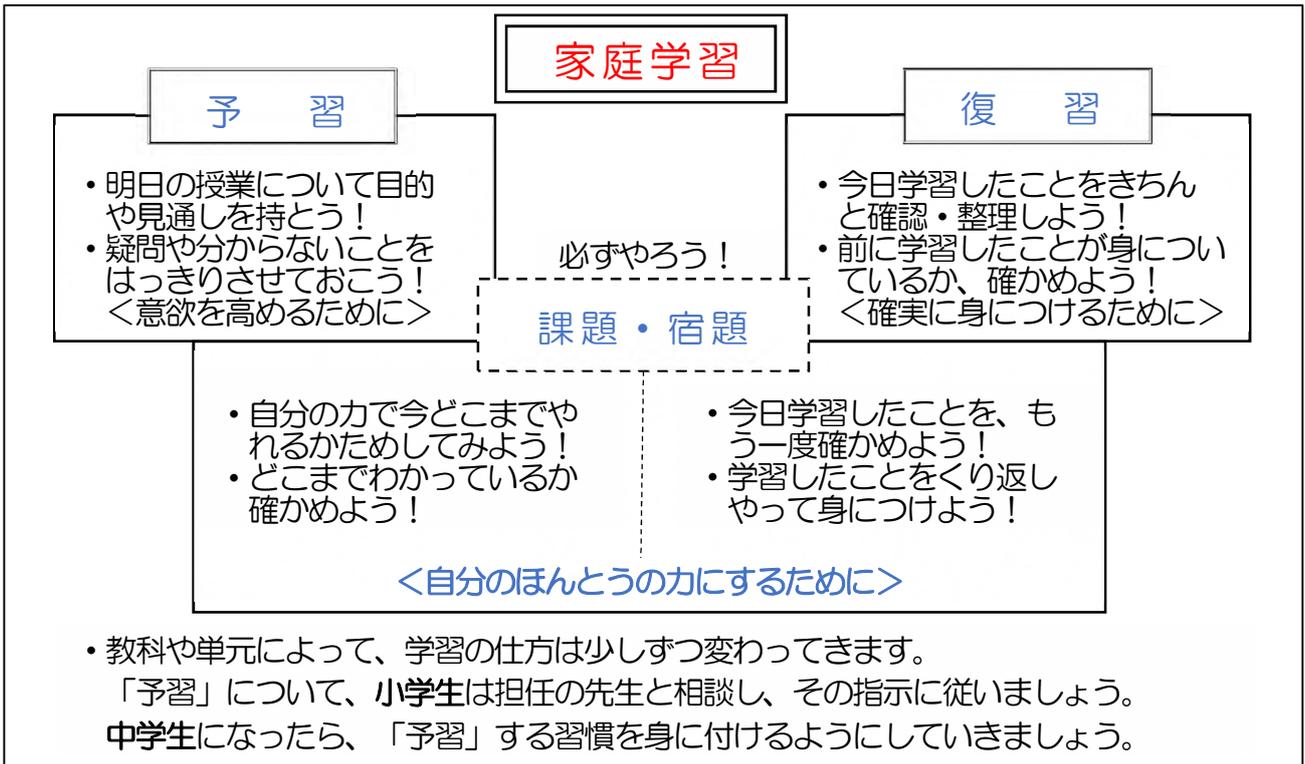


II 家庭学習の仕方・計画の立て方

1 家庭学習の意義

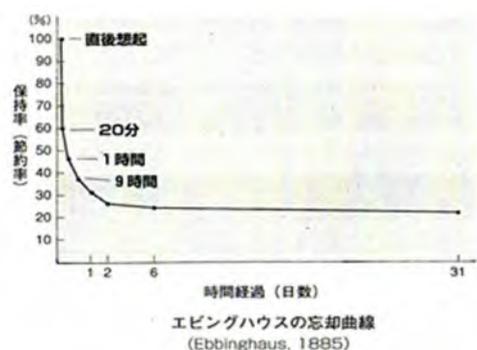
(1) 授業を支える家庭学習

学習の中心は、学校での授業です。そして、それを支えているのが家庭学習です。学習内容を「覚えて、使える」ようになるためには、授業だけでは十分とは言えません。内容が難しくなると、さらに定着に向けた計画的な学習が必要になります。



(2) くり返すことの大切さ

右のグラフは「忘却（ぼうきゃく）曲線」といって、覚えたことがどのように忘れられていくかを示したものです。完全に覚えられた状態になるには、短い時間でよいので、学習直後、1日後、1週間後、1か月後と、間を空けて復習するのがよいそうです。復習やくり返しの学習がなぜ必要なのか、よくわかるでしょう。家庭で、しっかり復習する習慣を身につけましょう。



引用文献 2006 グラフィック学習心理学～行動と認知～ サイエンス社

家庭学習をすれば…

- 学習したことが身に付いていきます。
- 1日を振り返るので、成長に気付きます。
- 学習(授業)が分かり、楽しくなります。
- 学んだことをためたくなったり、新しいことを知りたくなったりします。

人は、間を空けて繰り返し復習しないと、こんなに忘れてしまうのです。

2 家庭学習の基本 (およそのめやすとして)

(1) 時間のめやす

- 小学校5・6年生では

小学校5年生	1時間半～	「宿題+復習」に取り組もう。
小学校6年生	2時間程度	「宿題+復習+自分で決めたこと」に取り組もう。

- 中学校1年生では

平日	2時間～ 2時間半程度	「宿題+復習+予習」に取り組もう。
休日	2～3時間程度	「復習+予習+自分で決めたこと」に取り組もう。

(2) 学習のルールと心がまえ

- 家庭学習の大切なルール (習慣化)

- ・決めた時刻に 言われる前に自分で動こう(家での時間割をつくろう)
- ・決めた場所で 気が散るものは遠ざけ、いつもの場所で(環境スイッチON)
- ・計画した内容を 見通しをもって、集中して取り組もう(時間をむだなく)
- ・最後まで あきらめず、ねばり強く取り組もう(ねばり強さも学力)

- 家庭学習の心がまえ

- ・具体的な目標を立てて取り組もう！

何をどれだけ学習するのかを決めましょう。「宿題(課題)プラス ワン」が望ましい家庭学習です。また、取組の記録を付けて、計画どおりにできたか、自分で評価できるようにしましょう。

- ・「やる気」を引き出すために、学習への取りかかりを工夫しよう！

脳は、やっていると、次第に活発に動くようになります。とりあえず動き出してみると、そのうち集中してきますし、「やる気」もわいてきます。

「やる気」を引き出し、継続するために

- やる気が出たときの一連の流れを習慣化し、自分に暗示をかけよう。
- 好きなものや得意なものから始め、集中力を高めていこう。
- 集中力が高まったところで、ねばり強く、苦手なものや難しいものにチャレンジしよう。
- 脳を休めつつ集中力が途切れないよう、休憩は5～15分にしよう。

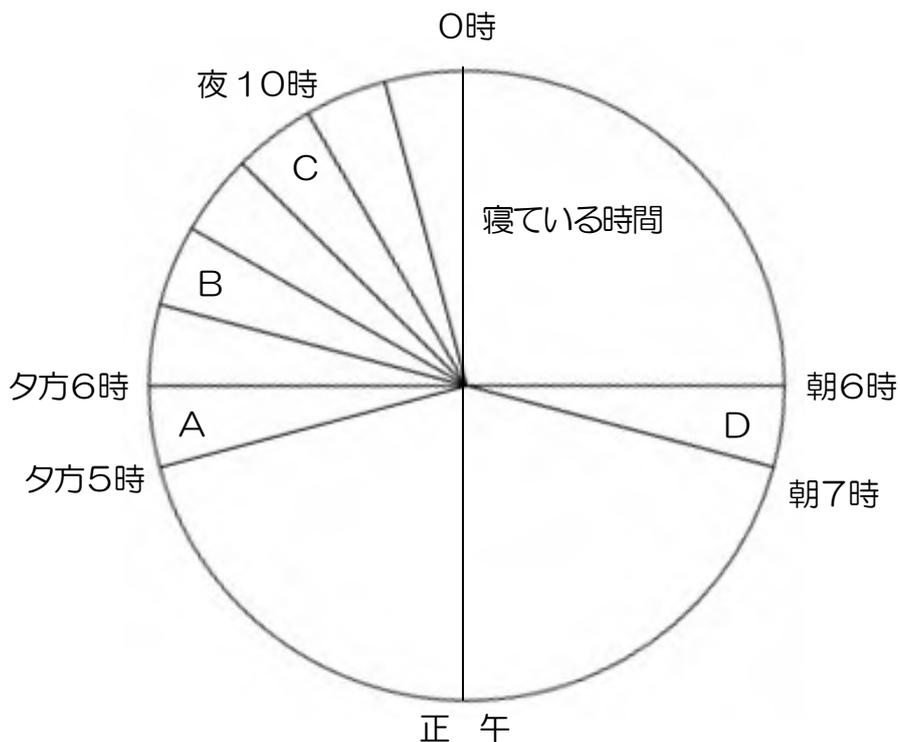
(3) 学習の時間割

①家庭学習ですること

<毎日すること>	<休日など不定期にすること>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿題・課題 ○ 今日の復習 (○ 明日の予習) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 以前学習した内容の定着に向けた復習 ○ 練習問題(基本・応用)・ドリル ○ 自由研究、趣味の読書 など

②時間帯によって変わる効果的な学習内容

A 帰宅してから夕食まで…	学校の疲れも残っているので、簡単な宿題やノートの整理などをすませましょう。
B 夕食後……………	本格的に落ち着いた学習をしましょう。
C 眠る前……………	「眠る前」には、記憶のしやすさとかかわりのある脳波が出るそうです。したがって、記憶しておきたいことは、眠る前に学習するよう工夫しましょう。
D 起きてから登校まで……	一晩眠ったことで、頭の疲れはとれていますが、朝は使える時間が限られています。その分、集中力は増すので、以前の学習内容の復習やその日の予習、単語の暗記など、簡単なものをしましょう。



③「家の時間割」をつくろう！

● 家ですることは、何があるかな？

- 晩ご飯・朝ご飯
- 入浴・歯磨き・洗面・着替え
- 手伝い、部屋の掃除・片付け
- 家族とのだんらん、テレビ・読書
- 家庭学習・明日の準備
- 睡眠（8～9時間）

● 朝食は必ず食べて登校しよう。

脳にはエネルギーをたくわえる働きはありません。午前中の脳のエネルギーは、朝ご飯でとっているのです。

● 睡眠時間はきちんととろう。

睡眠中に、脳は記憶の整理をしています。睡眠不足だとそれが十分できませんから、学びが定着しづらくなります。

● 帰宅してから、翌日の登校までにどれくらいの時間があるだろう！？

わたしの帰宅時刻… : ころ
 翌日の登校時刻… : ころ



家庭にいる時間… 時間 分

<家の時間割>

<平日>

15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7

<休みの日>

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22

④小学生のうちに「1週間の時間割」を立てる習慣をつくろう！

中学生になると、部活動や生徒会活動等、昼休みや放課後の時間を使った、さまざまな活動があります。当然、帰宅時間も遅くなりますし、休日にも部活動の練習が入ってきます。

したがって、小学生のうちに、平日の家庭学習の不足分を休日に補うなど、1週間単位で計画的に学習を進める習慣を身に付けておくとスムーズです。

下に、休日も含めて効率よく学習を進めるための「1週間の時間割」をつくりましょう。

曜	開始時刻	終了時刻	学習時間	家庭学習の内容
月				
火				
水				
木				
金				
土				
日				

3 家庭学習の進め方

(1) こんなことをやってみよう

- 宿題
 - どのような宿題が出たのか確認し、コツや注意点を思い出しながら取り組もう。
- 復習
 - その日の学習内容を教科書やノートをもとに振り返り、重要な事柄を確かめよう。
 - 本当に分かっているか、授業と似た問題を問題集やワークなどで探し、解いてみよう。
 - 授業で取り組んだ問題より少し複雑な、応用問題にもチャレンジしてみよう。
 - 授業で学んだことが、暮らしのどんなこととつながったり、役立ったりしているのか、身の回りから探してまとめてみよう。

<6年生、中学生になる前にこんなこともやってみよう！>

- 予習をしよう。
 - 次の授業で学習するところを音読してみましよう。その際、読めない漢字や意味の分からない言葉、疑問に思うことなどに線を引いておくだけでも授業の理解が深まります。
 - 教科書に大きく目立つように書かれた言葉（キーワード）に線を引き、別の言葉に言いかえるとどうなるか、例えばどういうことか、考えてみましょう。
 - 教科書に載っている図やグラフが、教科書のどの文とつながりがあるのかを確認しておきましょう。
- 「家庭学習ノート」をつくり、学習の大切なポイントについて整理してみよう。
 - なぜそこが大切なのか、どのように大切なのかをうまく説明できないときは、理解が不十分なときです。教科書で確認したり、学校で友達や先生に質問したりして、早めに解決しておきましょう。
- 授業中や予習の段階で分からなかったことを、「家庭学習ノート」や、別に作った「質問ノート」に書き出したりして、担任の先生に提出しよう。
- プリント類は、教科別のファイルを準備してとじたり、教科のノートにはったりして、きちんと保存する習慣をつけよう。
- テストの時期が近づいてきたら、範囲を確かめ、計画を立てて、学習内容を見直そう。
- 問題集やワークなどを購入するときは、使用する目的を考え、自分の力にあったものを選ぶようにしよう。

(2) こんなふうにやってみよう ～ 家庭学習のスキル ～

こんな方法・やり方を身につけておけば、学習はぐんぐんはかどりますよ！

● 学習は、声に出したり書いたりするだけでなく、意味を考えながら！

ただ教科書をながめるだけでは頭に入りません。きちんと記憶するためには、目で見ても声に出し、それを耳から聞いたり手で書いたりするだけでなく、なんでそうなるのか「意味を考えながら」学習した方がよいことが分かっています。

教科書は必ず音読し、繰り返し書いたり、意味を書き加えたりして覚えよう！

● 形に残る学習をしよう！

毎日の学習を確かなものにしていくために、家庭学習専用のノートを用意するなどして、形に残るものにしていきましょう。

- 書いたページ数が増えると、これだけやったという自信につながります。
- ○×だけでなく間違っただけの理由を分析して書いておくと、次は間違いません。
- 気づきや考え、重要語句の抜き出しなどは、次の授業で必ず役に立ちます。

● 疑問は必ず確かめよう！

家庭学習の中で出てきた疑問や分からないことなどは、線を引いておいたり、ノートに書き出したりしておきましょう。それが次の日の授業の中で解決しなければ、友達や先生に必ず質問する習慣をつけましょう。

「なんだろう、分からない!？」と思ったときが、一番理解できるとき。

勇気を出して質問し、「ああ、そうか!」と納得できたときの記憶は、強く残ります。確かな学力を身に付ける大きなチャンスです！

● くり返しチャレンジしよう！

教科書の問題やドリル等を使って、自分の理解の度合いをくり返し確かめましょう。

取り組むときは、基礎的な問題から始めて、応用問題、発展問題の順にチャレンジしていきましょう。

応用問題や発展問題は、どこかを少し複雑にしているだけです。よく見ると、基礎的な問題と同じ考え方で解くことができます。そこに気付くためにも、基礎的な問題を大切に先に進んでいくことが、実は学力を高める近道です。

「学問に王道なし」 一段一段 確かなステップを積み上げていくことが大切。

4 身に付けてほしい学習内容

小学校5・6年生で身に付けてほしいこと

学年	教科	主な学習内容
5年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 配当漢字が全て読み、8割を書くことができる。 ○ 4年生までに学習した漢字を書くことができる。 ○ 聞き手・読み手の知りたいことを、具体的に話したり書いたりすることができる。 ○ 語感や言葉のつかい方に対する感覚について、関心をもつことができる。 ○ 自分で決めた物語・詩・文章等を声に出して、毎日音読する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小数のかけ算・わり算の計算ができる。 ○ 整数・小数と分数の変換ができる。 ○ 約分・通分・異分母分数のたし算・ひき算ができる。 ○ 割合・百分率(%)の意味が分かり、計算ができる。 ○ 様々な図形の面積を求めることができる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 47都道府県について、名前と位置を指摘することができる。 ○ 日本の周りの国々の名前を覚える。 ○ 日本の主な「川、山地・山脈、平野、土地の名産」等を覚える。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 植物の発芽や成長の条件が分かる。 ○ 電磁石の性質やふりこの働き等が分かる。 ○ 天気の変化について
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回程度、「おすすめの本」について書く。伝記の紹介をし、人物の生き方や考え方から学ぶようにする。 ○ 本を借りるなどして1週間に2冊以上読書をする。
6年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学習する漢字が全て読める。 ○ 5年生までに学習した漢字を書くことができる。 ○ 聞き手・読み手の知りたいことを、分かりやすく具体的に話したり書いたりすることができる。 ○ 日常よくつかわれている敬語について、生活の中で生かすことができる。 ○ 自分で決めた物語・詩・文章等を声に出して、毎日音読する。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分数と小数の混じった計算を正しくすることができる。 ○ 速さ・道のり・時間の関係を数直線等で表し、求めることができる。 ○ 円の面積を求めることができる。 ○ 体積と立体の仕組みについて理解することができる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 47都道府県について、名前と位置を指摘することができる。 ○ 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人の体のつくりと働きが分かる。 ○ 月と太陽の位置関係が分かる。 ○ 電気や水溶液の性質が分かる。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回程度、「おすすめの本」について書く。伝記の紹介をし、人物の生き方や考え方から学ぶようにする。 ○ 本を借りるなどして1週間に2冊以上読書をする。

Ⅲ がくしゅう 学習の約束

保護者の皆様へ

学校では、次のような学習の約束をしています。御家庭でも子どもと一緒に確認してください。

1 授業前

○ 学習道具を確認しよう！ 〈筆箱の中に入れるもの〉

- 赤色と青色のえんぴつ（ペン）
- とがったえんぴつ 本
- じょうぎ ()
- 消しゴム ()
- ネームペン ()

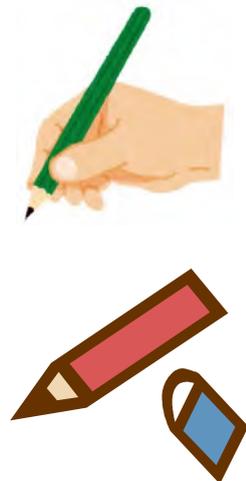


- ・勉強に関係のないものは、入れません
- ・下じきも、毎日もってきましょう。

2 授業中

(1) 学習道具の使い方

- ① えんぴつを、正しく持って書きます。
- ② 下じきを必ず使って、ノートをとります。
- ③ ノートは、見開きにおいて使います。
- ④ ノートには、日付を書きます。
- ⑤ 文字は、マスの中にしっかりとした大きさを書きます。
- ⑥ ノートは、ページをとばさないように使います。
- ⑦ 線は、じょうぎを使ってまっすぐ引きます。
- ⑧ プリントは、かどをそろえてきれいに折ります。
- ⑨ コンパスや三角じょうぎは、安全に気をつけて正しく使います。



(2) 学習に向かう姿勢・態度

- ①しっかり話を聞いて、考えます。
- ②発表する時は、まっすぐ手を挙げます。
- ③大きな声で、返事や発表をします。
- ④教科書やノートを読む時は、両手で持って読みます。
- ⑤文字や数字は、ていねいに書きます。
- ⑥せすじを伸ばして、きちんといすにすわります。
- ⑦足をブラブラさせたり、シューズをぬいだりしません。
- ⑧机やいすを、きちんとならべます。



(3) ICT端末の活用

- ①ICT端末は、学習で必要な時に、約束を守って使います。
- ②目を画面に近づけすぎないように気をつけます。
- ③ICT端末は、落としたりぬらしたりしないよう気をつけて使います。
- ④個人情報をインターネット上に公開しません。
- ⑤勝手にアプリを起動したり、インストールしたりしません。
- ⑥友達と貸し借りをしません。
- ⑦デスクトップ上のアイコンや背景の設定を勝手に変えてはいけません。
- ⑧破損や異常がある場合は、すぐに先生に連絡します。

(4) 学習中の話し方

話す	<ul style="list-style-type: none"> • わたしは～だと思います。そのわけは～だからです。 • ～の説明をします。～については、～です。 • わたしの考えは～です。～してみてもどうですか。 • たとえば～ ・つまり～ ・もし～
しつもん	<ul style="list-style-type: none"> • ○○さんに質問があります。 • ～について、くわしく説明してください。
同じとき ちがうとき	<ul style="list-style-type: none"> • わたしも○○さんと同じで、～だと思います。 • ～のところが～なので、賛成です（反対です）。 • わたしは○○さんとちがって、～だと思います。
つけ加え	<ul style="list-style-type: none"> • ○○さんの意見につけ加えてわたしは～だと思います。 • わたしは○○さんと同じ意見ですが、理由がちがっていて～だと思います。 • 前勉強したときは～だったので、今日のこれも～。

(5) 学習中の聞き方

- ①姿勢をよくして、話をしている人を見ます。
- ②うなずいたり、反応したりしながら聞き、大事なことはメモを取ります。
- ③自分の考えや理由と、同じかちがうか、くらべながら聞きます。
- ④つまりどういうことか、例えばどういうことか、考えながら聞きます。
- ⑤わからないことは、質問します。

(6) 学習中の書き方

- ①速く書くときとていねいに書くときを区別して、書き分けられるようにします。
- ②考えを書いたり黒板をうつしたりするときは、近くにコツやポイントもメモします。
- ③文章で書くのがよいか、言葉を図や矢印で結ぶのがよいか、場面によって区別します。
- ④学習のまとめやふり返りを自分の言葉でしっかり書きます。

3 授業後

- ①次の時間の学習道具を机の上に出して、準備しておきます。
- ②トイレをすませ2分前には席に着きます。

4 ノートの取り方

- ①日づけと教科書のページ、問題番号などを書く。
- ②めあて・まとめは、色分けをして、じょうぎを使って線でかこむ。
- ③最後に、学習の感想やポイントを書く。

いつもココロに 五つのしおり

あいさつを
大きな声でします。



へんじを
はっきりいいます。



はきものを
きちんとそろえます。



まわりを
いつもきれいに
します。



時間を
きちんとまもります。



「進んで学ぶ 時津っ子」

平成23年12月 初版発行
平成26年 3月 第1回改訂
平成29年 3月 第2回改訂
令和 2年 3月 第3回改訂
令和 5年 3月 第4回改訂

発行者 時津町教育委員会
「進んで学ぶ時津っ子」作成協議会
時津小学校 時津北小学校
時津東小学校 鳴鼓小学校
時津中学校 鳴北中学校

時津町立_____小学校

5年___組___番

6年___組___番

名前